

自己評価票

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今まで自宅で生活していた時のように地域に出かけ交流の機会を持つことを心がけ実施している	○	近所・自治会と地域に密着した生活を送ってはいるが近所の方々との交流を今以上に取り組んでいきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	人が人らしく当たり前の生活が送れる様、常日頃から確認をしながら行っている	○	理念を心がけ共有しながら続けていきたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居・来訪時に近所に出かけ、自然に生活を送ることの理解を得、推進会議の場、地域の回覧版を借りて地域の方の理解を得ている。	○	回覧板の活用を今以上に多く持つていく
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方が畑仕事の手伝い、話し相手など来訪が有る。又犬に会いに来る幼子の姿もあり自由に庭に出入りしている。	○	近所名の方々との交流はもっとたくさんの方々の立ち寄っていただけるよう考えたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会総会、納涼祭、地域の行事に参加し積極的に交流をしている	○	自治会の集まりごとへの参加、祭りには入居者も一緒に参加交流を行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等 の暮らしに役立つことがないか話し合 い、取り組んでいる	近所の消防署の力をお借りし消火、避難訓練、救急蘇生講習会等近所の方々と一緒にできる様計画し実施している	○	地域の高齢者の介護相談、勉強会の回数を増やせるよう取り組みたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は複数職員で行い全職員が把握、理解、生活支援に反英できる様ミーティングを実施している	○	評価項目はケアをするにあたり常日頃から心得て改善につなげている
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、自治会の方々の評価も頂き職員会議で報告、ケアの質の向上に生かしている	○	家族等との話し合いであげられたことをケアの向上のために取り入れていきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のGH連絡会を設置し市町村、同事業所の方との交流を持っている	○	GH間での連絡交流は取れているが市窓口からの交流は少ないので今後も声かけを継続していきたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会へ参加し知識として身に付けている	○	必要とされた時には活用していきたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修への参加、虐待のない環境作りを行っている	○	継続して常に虐待防止に努めたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	○	家族とのトラブルを避ける為にも十分な説明を行っていききたい
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	入居者と職員の意見の交換会は今後も定期的に行っていききたい
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	○	月1度、訪問のある家族が多いので日常生活の様子を個別に対応報告している
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	家族へのアンケート実施の回数を増やしたい
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	働きやすく生活しやすい環境を作る為に意見、提案を聞くことを続けたい
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	今後も必要に応じ対応していききたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来離職者が少ないので助かっているが同敷地内での他サービスの職員との交流を多く持つことにより顔なじみの関係となっている	○	やむおえず移動となっても負担がないよう常日頃から交流を持ち続けたい
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修への参加、施設内での勉強会、スキルアップの為に資格取得ができる様支援している	○	研修が全職員に行き渡るよう頻繁に行っていききたい
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡会にて情報の交換を月1回実施、活動内容、空き状況の交換をしている。又施設見学等の機会を設けている	○	発足したての為に今後勉強会も設けて生きたい
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間はゆっくりとくつろげるよう個室を用意、月1度食事会を行っている	○	月1回の交流会は続けていきたい
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個人個人が目標を持って介護ができる様それぞれが役割を持って行っている	○	資格取得により本人の意向を踏まえ部署移動等の機会を設けていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談後自宅訪問、本人との面談を実施, できる限りご本人に「自然の家」を見学をしていただき納得した上での入居を勧めている	○ なるべく自宅に何度か訪問し現状の把握に努めている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	自宅訪問もしくは来所していただき本人を抜いた状態で家族の本来の意向を聞き取る努力をしている	○ 家族の意向を聞くよう努めている
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	経験のある職員の聞き取りにより入居の他、いくつかの支援、他のサービスがあることを提示、案内している	○ まず何を必要としているのか傾聴を心掛けていきたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	今までの状況、生活史をアセスメントし出来る限り変化の無い様少しずつ導入していくようにしている	○ 不安や戸惑いがある時はいきなり入居にするのではなくサービスにも色々あることを知っていただき少しずつ馴染らすようにしている
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護する側される側ではなく生活の場として入居者の持っている知識を学びとりながら生活が維持できるよう支援している	○ 施設という概念を取り払い家族のような付き合いでの生活に心掛けている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	新たなニーズに対しては、これから提供するサービスを本人及び家族と話し合いの元、行うようにしている	○	ほとんど来られない家族との連絡方法を改善していきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の意向を聞き入れ本人との関係を崩さないよう努めている	○	家族が参加しやすい行事を増やし、取組みたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生活していた時の関係者の来訪、外出行事等継続していけるよう支援している	○	以前から決まった日に外出している方は入居後も近隣の人と外出し楽しんでいる
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個人個人を把握し入居者同士が楽しく暮らせるよう時にはソファや家具の配置を換えたり工夫をしている	○	気の合う合わない関係もあるので職員が間を取り持つよう気配りをしている
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居された後も行事への誘い等交流を持ち機会をもうけ介護不安にならないよう声かけしている	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや意向はご本人から時間をとって個別に聞くように努力している	○	ご本人がどうしたいのか傾聴をする様心掛けていきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの長年の生活状況は家族や前利用事業所から情報を伺い把握に努めている	○	ご本人と関わっていく中で今までの暮らしぶりなどを聞くようにしている
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの生活史を尊重し心身の状況を把握しながら暮らしのアセスメントの実施をしている	○	個人のアセスメントを充実し職員間で共有をしていきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族・本人の意向を聞き取り、アセスメント・ケアプランは担当者が作成、その後プラン会議を実施、全員で内容を検討把握するよう心掛けている	○	入居者会議で利用者の意見を聞き取りケアプランは全員が共有できるよう今後も続けたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	プランはいつでも見る事ができるよう支援経過と同時保管、モニタリングによる見直しが起こった時は会議を実施し即変更するようにしている	○	プランの見直しは期間に関係なく日頃から行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は毎日残し報告は申し送り時と合わせ申し送りノートに記録、必要に応じモニタリングの実施、情報を共有している。尚、これらは一目で分かるよう、青ペンでの記入となっている	○	即対応できるよう申し送りは徹底している
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	3年未満の為多機能性を生かした支援の許可が下りていない		先々は多機能性の「通って」「泊まって」のサービスの機能を取り入れたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域ボランティア・近所の方との交流を持つ機会を設けながら地域からかけ離れないよう支援している	○	商店街、図書館、美容室など出かける機会が多く職員と共に地域に出ている
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向を聞き他の施設への入居を支援していることがある		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	該当する人がなく協議する機会が持っていない		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までの主治医の継続と必要に応じ通院、往診のDrにより定期的な医療が受けられる	○	本人、家族の意向を聞き入れ通院受診を行っている
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要が生じた時は専門のDrへの紹介、受診ができる様支援している	○	病院の地域連携室の相談員との連絡が取れるようになっている
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員に看護師を採用しており常日頃から健康管理には気配りをしている	○	看護師と共にこまやかな健康管理をしている
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院当初から生活状況の情報をお知らせ、でき限り変わりのない入院生活を送っていただけるよう依頼し、頻繁に見舞い退院後の受け入れが早期に出来るよう検討をしている	○	病院Drの治療方針を伺い必要以上の入院生活にならないようお願いしている
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時、必要時家族との話し合いを持ちDrへの報告と共に職員とも話し合いを持つようにしている	○	状況は変化した時は家族と話し合う機会をもうけ検討を行っている
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	出来る限り入院の必要性がない限り生活を維持していただくが「自然の家」で出来ることとできないことは家族職員共に話し合い検討をおこなっている	○	重度化にも多々あるのでその都度対応を検討していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	自宅で長年愛用していた家具の持込を重視し、生活内容が激変しないよう情報提供を行っている	○	退去時も変化の無いよう生活状況を細やかに提供している
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人のプライバシーを尊重し個人の居室の出入りにも声かけをしている	○	他人に聞かれないことは本人のみに個人情報個人記録にと徹底している
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	介護者が決定するのではなくあくまで本人が決定できるよう声かけを行いそれぞれの認知レベルに従い声かけ方法（方言）も変えている	○	時間を取り傾聴も続けたい
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務中心ではなく、あくまで生活の支援であることを重視、1日をゆったりと過ごす人、買い物や家事に生きがいを感じる人それぞれの生活を大切にしている	○	職員がそれぞれに対応するようにしている
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出時のおしゃれ、化粧、美容室と個人を尊重、困難な方には訪問サービスを提供している	○	外出時の化粧など大切にしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	今まで出来ていた家事仕事、残存能力を活かし食事の用意や片付けを職員と一緒に行うようにしている	○	材料を切る人、食器を洗う人それぞれにできる事があるので参加していただいている
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	既往歴、家族の意向を考慮して、個人の好みのお菓子、飲み物、飲酒も病状を管理しながらそれぞれに提供している	○	事情を考慮して上で今後も続けていきたい
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄は不快でないようオムツ、パット等それぞれにあわせて用意し排泄誘導も個人のパターンで行っている	○	排泄用品は個別、用途ごとにたくさんの種類を用意している。排泄は個別対応を心掛け実施している
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週何回というように決めることなく希望者は毎日でも入浴している。本人の好きな入浴剤も用意している	○	入浴に楽しみのある人には同敷地内にある石風呂での入浴を行っている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人でくつろぎたい時等は自室または共用和室でゆっくりと休んでいただいている	○	個人の部屋はコタツや椅子がそれぞれ好みにより置いてあるのでそれぞれにくつろいでいる
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事的な作業が好きな人は家事仕事、外出が好きな人は買い物、散歩や体操とその人なりに楽しみを探しているのものでその場を提供している	○	それぞれに役割を持ち、楽しみや気晴らしを持つようにしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	おおよそ管理のできる人には小遣い程度を持っていただき管理の下自由に使用していただいている	○	お金を持っての買い物はうれしいようで買い物に行けるよう支援している
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	公園に散歩に出たり図書館に出かけたり買い物は日課となっているためそれぞれに外出している	○	太陽に当たる大切さ、外に出る楽しみは今後も続けて生きたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	時には普段いけない所に本人の意向を尊重し行事として外出を実施している	○	一人だけの外出であったりと個別の対応は行っている
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙は1年に2回は本人から出すよう準備し、電話は必要時にはいつでもかけられるように支援している	○	電話の取り次ぎはいつでも可能であり中には個人で携帯電話を持参している入居者もいる
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	馴染みの人の来訪は特に規制をしていないので自由に入出入りして頂いている	○	事前に家族から本人の付き合いのある方を聞き取り了解を得た方には居室、和室にて過ごして頂いている
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関等施設は夜間以外せず、居室は個人の希望で掛ける事も可能であり、自由な生活を送っていただくことが基本なので拘束は考えていない	○	危険回避でどうしても必要であると家族からの依頼が強かった時、方針の説明を再度実施尚かつ家族からの書面にて確認対応するよう決め事としている

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開設当初から玄関、門、リビング掃き出し窓と各居室と鍵をかけることをしていない方針である為いつでも自由に庭に出れるようになっている	○	鍵閉めは考えていないので今後も続けて行きたい
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者がどこに居るか常に「気配り、目配り、心配り」を心掛けている	○	声かけ実施しながら安全確認を心掛けていきたい
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の状況に応じ一律に物を隠すのではなく必要に応じ最低限での対応、目配りで対応している	○	目配りの強化をしていきたい
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個人の状況を把握しいろいろな事故を想定しながら予防に努めている	○	少しでも「ハッとした事」があれば、すぐにインシデントに記入し、職員同士で情報を共有している
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急に備えマニュアルを作成、対応方法、手当てを学んでいる	○	訓練を充実していきたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	訓練はいつ何時起っても対応できる様予告無しで実施している。全職員ができる様何度でも実施している	○	行事の時、地域への声かけを行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	本人の状態が変化するごとに起こり得ることについて予測し対応策を話し合っている	○	その人らしさを失わないように生活していただく為には、起りうるリスクについて予め家族に説明、同意のもと、自由に過ごしていただいている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の体調管理を行い変化時は看護師と相談の上必要に応じDrの指示をいただき職員同士の送りに徹底している	○	繰り返し起りうる病状についてはDrに指示を予め受け、使用できる薬を常備している
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師と共に職員も薬の管理が出来ておりカードックス・薬の一覧表での確認も出来ている	○	全職員が把握している
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜の摂取・体を動かす為の体操・散歩等日頃から便秘予防には気をつけている	○	薬に頼らず軽い便秘にはオリゴ糖・牛乳で対応したり、運動と食事で解消するよう心掛けている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自己管理の出来ない人には職員が声かけを行い歯磨き、洗浄を実施している	○	訪問歯科のDrから口腔衛生に関する正しい指導を受け実施している
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病歴により食事制限のある人の対応、分量の調節、水分摂取等それぞれに対応している	○	水分を誰がどれだけ摂取したかの把握を記録係が時間でチェックし、記入している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症は情報をいち早くキャッチし予防、対応を行っている	○	感染症と同じような症状が出たときは感染症を想定した訓練する事もある
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は常に新鮮な収穫した野菜を提供、食器は煮沸消毒し（食器洗浄器使用）、衛生には気をつけている	○	保存野菜などには日付を記入している
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門は常に施錠せず近所の方が気軽に遊びに来れるようにしている	○	誰もが出入りしやすいよう心がけていきたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングからはデッキ・広い庭・畑・果樹園を眺めることができソファでゆったりとくつろぐことが出来るまた浴室は木々を眺めながら季節感を感じることが出来る	○	施設ではないので張り紙は禁止としている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを置き、庭にはベンチが在り気の合う者同士がゆったりとくつろげるようになっている	○	家具は何事かが起きた時にはすぐに対応できるように配置している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	基本的に自宅で長年利用した愛着のある家具を持 ち込みその人らしい部屋作りをしていただいている。気の合った入居者同士が、居室でお茶を飲ん だりと、くつろぐスペースがある	○	本人の好みにより自由に利用している
84	○換気・空調の配慮 気になる臭いや空気のだよみがないよう 換気に努め、温度調節は、外気温と大きな 差がないよう配慮し、利用者の状況に応じ てこまめに行っている	室温計を設置し加湿器、空気洗浄器にて管理、日 に一度は窓を開け換気をしている	○	空気の入れ替えは日に1度は必ず行っている。夏 場はよしずを利用し網戸の日が多い
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	段差のない床、手すりの設置等安全に生活が送れ る様にしている	○	歩行が不安定な人には補助器具を利用してい ただいている
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	残存機能を生かし出来る力を生活に生かすよう心 がけができることに自信を持っていただくよう支援 している	○	その人なりの分かる力に合わせ、困難な方には職 員が支援できるよう心掛けている
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	自室前のテラスには布団や洗濯物が自由に干すこ とができ、広い庭にはベンチ、テーブルがあり好 きな時にくつろぐことができる又季節の花々、果 樹園、農園があり活動できるようになっている	○	庭で犬を飼っており、ベンチがいたる所にあり楽 しめる場所がある

(部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
		○	②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

残存機能を引き出し今までできていたことは積極的に行っていただく、できなく困っていることへの支援に心掛け、できることの喜び、必要とされている事のうれしさを感じていただくよう心掛けている。出来るだけ自宅で生活していた時のように近所、商店街、行事等に参加し地域から離れることのないよう心掛けている。